教科書 p.196～197

年	組	番
名前		

探究力 UP ワークシート

⑦ 大都市への人口集中は緩和できるか？

■資料読解の問い

東京の人口や居住傾向はどのように変化してきたのだろうか？

STEP 1　既習事項の確認〔知識・技能〕

1　教科書 p.192 図 1・2 を参考に、東京への一極集中の状況を確認しよう。

2　教科書 p.192～193 を参考に、東京への一極集中によって生じた現象や問題を、都心と郊外に分けて説明しよう。

STEP 2　資料の読解〔思考・判断・表現〕

1　教科書 p.196 右の QR コードから地域分析ができるウェブサイトを開き、東京都の 1995 年と 2020 年の世帯数と 1 世帯あたりの平均人数を表示させよう。そして、どのように変化しているのか、説明しよう。

2　教科書 p.196 写真 2 や教科書 p.197 図 3・4 から、1990 年代後半以降の東京周辺の居住傾向にはどのようなことが考えられるのか、次の語句を用いて説明しよう。

【　地価　マンション　都心回帰　】

■国土像探究に向けて

人口の一極集中の背景と緩和の可能性を探究しよう。

STEP 3　自身で探究〔思考・判断・表現〕

1　あなたが暮らす地域など、東京都以外の道府県を一つ選び、東京都への転出者数とその年齢層などの内訳を調べよう。調べる際は、インターネットで e-Stat（政府統計の総合窓口）を利用し、最新の国勢調査などを参考にしよう。

2　地方と東京などの大都市圏との間で人々が移住することで、移住する人と、また移住元と移住先双方の街にとって、どのようなメリットとデメリットが生じるのだろうか。教科書に掲載されている資料やインターネットで調べられる資料、図書館の書籍などを用いて調べ、教科書 p.197 図 7 のように整理しよう。

		メリット	デメリット
地方→大都市圏	移住する人		
	街		
大都市圏→地方	移住する人		
	街		

STEP 4　協働・まとめ〔主体的に学習に取り組む態度〕

1　グループになり、STEP 3 で探究したことを発表しよう。また、あなた自身は、大都市圏と地方のどちらで暮らしていきたいのかを議論し、ほかの人の意見を聞いて、新たな視点やさらに調べてみたいことなどを書き出そう。

【新たな視点】

【さらに調べてみたいこと】

【そのほか】

振り返り

1　ここまでの学習を振り返って、以下の項目について自己評価をしよう。十分に達成できた項目には◎を、一部は到達できた項目には○を、到達には努力が必要な項目には△を、それぞれつけよう。

東京の人口や居住傾向がどのように変化してきたのか、理解できた。	
e-Stat を用いて、あなたが選んだ地域の東京都への転出者数やその年齢層の内訳などについてまとめられた。	
地方と東京などの大都市圏との間で人々が移住することで、移住する人や移住元・移住先の街にとってどのようなメリットとデメリットがあるのか、それぞれ分けて表現し、ほかの人と議論できた。	